

森村泰昌 *MORIENNALE* まなぶ美術史

森村泰昌(もりむらやすまさ/1951年生まれ)は、ゴッホの名画やマリリン・モンローなどの女優になりきった姿を大型写真で発表する「セルフポートレート(自画像)」の手法で知られる日本を代表する美術家です。1988年のベネチア・ビエンナーレへの出展以降、国内外で高い評価を受けて活躍しています。そんな森村も、最初から美術家として完成していたわけではありません。高校生の頃から、画集などで新しい表現に出会うと、その画風や制作思想を「まねた」作品をつくり、「まねる」ことから「まなぶ」若者でした。そしてそのことが、現在の“モリムラ”を築き上げる基礎となっていたのです。

本展では、高松市美術館の所蔵品を中心として、若き日に影響を受けた岡本太郎、赤瀬川原平など日本の現代美術史を代表する作家に加え、クレー、デュシャン、ウォーホルやジャスパー・ジョーンズなど西洋美術史を彩る作家たちによる作品と、そのスタイルを真似て森村自身が制作した絵画や素描、写真、立体作品などを一対で見比べられるよう展示し、一人の青年が美術を志し、美術家として確立するまでの道りを辿りながら、現代の美術の歴史も楽しんでいただけます。世界と日本の「美術史」と、森村による「私(わたくし)美術史」が交差する、あらたな視点からの美術史入門、それがモリエナーレです。

■ 関連行事

① 大学・高校生に語るモリエナーレ・ギャラリートーク

講師 森村泰昌氏
 日時 9月22日(土・祝) 14:00~ 場所 企画展示室
 内容 富山大学芸術文化学部と富山県立高岡工芸高等学校の学生たちを交えてのトーク
 ※一般の方も聴講可能です[要観覧券]

② ギャラリートーク

講師 安達博文氏(画家、富山大学芸術文化学部教授)
 橋本文良(版画家、当館副館長)
 日時 10月13日(土) 14:00~ 場所 企画展示室
 ※どなたでも聴講できます[要観覧券]

③ ドキュメンタリー特別上映会

美術家・森村泰昌の1996年以降の歩みを、作家本人の映像作品をふくめた岸本康監督によるドキュメンタリー映像でご覧いただけます。
 場所 地階映像ホール

■ 上映スケジュール * いずれも14:00~ 各日1回かぎりの上映 [鑑賞無料]

9/23 (日)	Chap.0+2	(合計64分)
10/6 (土)	Chap.0+1	(合計64分)
10/7 (日)	Chap. 1+2	(合計74分)
10/8 (月・祝)	Chap.3	(合計62分)
10/14 (日)	Chap.3	(合計62分)
10/20 (土)	Chap.0+2	(合計64分)
10/21 (日)	Chap.0+1	(合計64分)
10/27 (土)	Chap.1+2	(合計74分)
10/28 (日)	Chap.3	(合計62分)

● MORIMURA Chapter 0 - *Barco negro na mesa+Five Water Towers* (27分)
 2007年に金沢で展示された《桌上的バルコネグロ+五つの塔》の発想から制作までの一連の過程と作品への思いを森村氏が語り、表現活動への姿勢を捉えたドキュメント

● MORIMURA Chapter 1 - *A kind of Introduction* (37分)
 1996年から約10年間の映像、パフォーマンス、インスタレーションなどを紹介

● MORIMURA Chapter 2 - *This is the Archive* (37分)
 1998年の東京都現代美術館「森村泰昌・空装美術館 絵画になった私」の記録映像を見ながら森村さんがトークする様子を紹介

● MORIMURA Chapter 3 - *Time Machine* (62分)
 20世紀とは何かを問いかけるレクイエム・シリーズなど2006年から2012年の森村氏の活動、そのメイキングや展示風景をインタビューによって伝える。三島由紀夫やレーニンの演説、チャップリンの独裁者ほか、ウォーホルやダリなど20世紀を代表するアーティストに扮す映像作品、また、硫黄島をテーマとした「海の幸」が採り上げられる。

※ 身体障害者・精神障害者福祉・療育など各種手帳をお持ちの方および付き添いの方(1名)は観覧料が半額です。手帳をご持参ください。 ※ 前売り発売所: 富山・高岡市内主要プレイガイド、読売新聞北陸支社、画材店、高岡市生涯学習センター(ウイング・ウイング高岡3F)、高岡市美術館ミュージアムショップ



これもまた落選した作品だ!!



ペン画で劇画タッチの絵本を作りたかった一度出版社に持ちこんだが音沙汰はなかった渡した原画はいまだに帰って来ない



細密画という内へ向かう表現が反転して、自分を外界に曝すセルフポートレート作品を作り出すことになるのは、それからまた数年先のことである。



イタリアルネサンスにおける「モナリザ」は20世紀アメリカにおける「マリリン・モンロー」に相当する?

- ① 岡本太郎《生成》1961年 油彩、カンヴァス 228.5x162.5 高松市美術館蔵
- ② 森村泰昌《絵画の国へ2》1976年 油彩、パネル 84.5x140.4 作者蔵
- ③ 赤瀬川原平《櫻画報》1970年 印刷物 17.5x18.5 森村泰昌氏蔵
- ④ 森村泰昌《マンガ絵本下絵「10円玉にいじめられるはなし」(未完)》1980年代初め ペン、紙 38.3x54 作者蔵
- ⑤ 前田常作《恐山いたこのイメージ》1965年 油彩・カンヴァス 90.8x73.0 高岡市美術館蔵
- ⑥ 森村泰昌《メビウス・マンダラの混淆図》1970年代中頃 オフセット・紙 44.2x45.4 作者蔵
- ⑦ アンディ・ウォーホル《マリリン》1967年 シルクスクリーン、紙 91.5x91.5 高松市美術館蔵
 © 2012 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc./ARS, N.Y./SPDA, Tokyo
- ⑧ 森村泰昌《MのセルフポートレートNo.56/B(あるいはマリリン・モンローとしての私)》1995年 モノクロ写真 50.8x40.6 作者蔵

■ 交通のご案内

- JR北陸本線高岡駅より
- 徒歩 | 約20分(高岡駅・古城公園口より北東約2km)
- バス | 富山行または石川循環線「中川」下車、徒歩2分
 市民病院方面行「工芸高校前」下車、徒歩1分
- JR水見線 | 「越中中川駅」下車、徒歩2分
- 越前自動車道
- 高岡北ICから約10分 ● 高岡ICから約15分
- 北陸自動車道
- 小杉ICから約20分 ● 砺波ICから約30分
- 駐車場
- 地下駐車場・・・2時間まで駐車料金無料
- 高岡文化の森駐車場(屋外)・・・駐車料金無料



公益財団法人 高岡市民文化振興事業団
高岡市美術館

〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号 TEL. 0766-20-1177 <http://www.e-tam.info/>